

水産大学校 医務室 2017年

保健だより



9月に入り暦の上では秋になりましたが、まだまだ暑い日が続きますね。みなさん、夏休みはどのように過ごしましたか？実習や集中講義などで忙しい夏を送った人も多いでしょう。1年生は、初めての夏休みだったので、帰省後にホームシックになり気持ちが落ち込んで、体調を崩す人がいます。体調の異変を感じたら、早めに医務室に来て下さい。体調を万全にして定期試験に臨んで下さいね。

今回は、救急の日に因んで**救急時の基礎知識**について特集します。

 9月9日は救急の日

救急の日は、「9（きゅう）9（きゅう）」の語呂合わせから、救急医療関係者の意識を高めるとともに、救急医療や救急業務に対する国民の正しい理解と認識を深めることを目的として、昭和57年（1982年）に厚生労働省によって定められました。人がいつどこでどんな危険に遭遇するかわかりませんし、私達自身もいつ命が危ない状態に置かれるかわかりません。

必要最低限の救急に関する知識は必要になります。

救急時の フローチャート

人が倒れている

反応を確認する

反応なし



大声で人を呼び119番通報をする

AEDの手配

様子を見守りながら
救急隊到着を待つ

呼吸あり

呼吸の確認をする



呼吸なし

心臓マッサージを行う
胸の真ん中辺りを強く、早く、
絶え間なく（約2分）圧迫する

AED到着と準備
電源を入れ
電極パットを装着する。

繰り返す



電気ショック（1回）
ただちに心臓マッサージ再開

必要あり

AED心電図の自動解析

ただちに心臓マッサージ再開

必要なし

AED(自動体外式除細動器)について

心臓のけいれん(心室細動)で、全身に血液が送れなくなり呼吸・脈・意識がない状態の心臓に電気ショックを与え正常なリズムに戻すための医療器具です。
心室細動は、スポーツ中の胸の強打・脱水・電化製品の感電でも起こります。

心停止から3分以内にAEDを使うことで生存退院率が高くなるため、2004年7月から一般の人でも使えるようになりました。(救急車到着まで平均約8分)



AEDの使い方

AEDは、電源を入れると音声の指示が始まり、その指示に従って操作を行えば誰でも安全に使えます。AEDが必要でない時は、「電気ショックは必要ありません」とアナウンスがあります。その場合は、心臓マッサージを続けてください。



大学内のAED設置場所

- ★講義棟1階ホール★守衛所★多目的学生教育棟1階ホール★体育館1階ホール
- ★寮の食堂 計5箇所

日頃から学内のどこにAEDが設置されているのかを確認し緊急時に備えましょう。